

相互提案協働事業 報告書

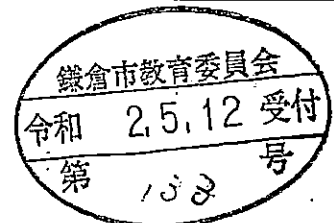
令和2年4月30日

(宛先)鎌倉市長

住所 鎌倉市 [REDACTED]
〒 [REDACTED]
団体名 玉縄城址まちづくり会議
代表者氏名 荒井 章 [REDACTED]

平成31年度事業報告会に先立ち、協働事業の実施状況・実施結果について、下記の通り報告します。

事業名	小・中学生のための体験型社会科学習事業
事業概要	1. 小・中学生を対象とした社会科学習施設の充実 重文古民家と歴史民俗資料館内の見学コース充実。 2. 解説用学習資料「かまくら玉縄のむかしのはなし」の出版。 DVD ヴィデオを作成。 3. 「昔の暮らしの道具」展示棚の製作。
市担当課	鎌倉市教育委員会 教育センター
事業実施期間	令和元年6月20日 ~ 令和2年3月31日終了
協働の形態	鎌倉市教育委員会提案 協働事業
事業費	329,996円



<p>事業目的の達成 (継続中の事業については、現時点で判断する)</p>	<p><達成できた点></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 重文古民家では、萱ぶきの屋根、黒光りする梁、柱、見学し、炭が燃える囲炉裏での体験、和傘や長持など今の道具との違いを学んだ。五節句の設えでは、正月飾りと雛飾りを楽しんでいた。 2. 歴史民俗資料館には1万年前の出土品、400年前の武具も展示してある、鎌倉ゆかりの武将の質問には、似顔絵を見ながら活発に発言し、質問も多く出ていた。 3. 2階では、農具に触れ、天秤を担ぎ、お米を枡で計り、食べ物づくりの道具に触れることで、昔の道具の知恵が今の道具に活かされていることを、自ら気づくように導びけた。 4. 学童が見やすく手に取りやすいように「昔の暮らしの道具」を工夫して棚に並べたこと、机と椅子を設置したことで、いくつもの道具を写生し、楽しんでレポートを書いていた。 5. 副読本2500冊、DVDビデオを50作成。配布。 <p><達成できなかった点></p> <p>新型コロナウイルスにより、見学ができない学校が数校あり残念でした。</p>
<p>成果・効果</p>	<p>この事業による成果は次の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2011年の市民提案協働事業で「歴史民俗資料館リニューアル事業」により本格的な体験学習開始。9年間で鎌倉市立全小学校がの学童9000人近くが体験学習に参加。 3. 玉縄ふるさと館の企画展、常設民具、見学対応は市民学芸員が担当しています。2013年から、県、文化庁事業で市民学芸員育成講座を開催し、県民の参加で一流講師による実践的講座です学ぶことで高い知識と意識を持ち県産しています。文化庁補助金事業は本年度で一区切り、この事業の重要性から、鎌倉市の協働事業として継続してゆく必要が重要と考える。 4. 教育委員会教育センターとの協働により「かまくら玉縄のむかしのはなし」を刊行するにあたり、市民団体では不可能なことも多く貴重な資料の提供を各所からいただきました。 5. 次世代につなげる「鎌倉武家文化」の歴史資料を掲載できた。これらによって、市民だけでは作れない様々な視点から、玉縄地域の特質を次世代に継承できる副読本を作成できた。 6. 鎌倉朝日新聞3月1日号に掲載されたことで、周辺地域の市民からの問い合わせがあり、地域の歴史と文化を広めることができた。

<p>課題・問題点 (解決・改善の方法について も記入)</p>	<p>次年度以降も市民学芸員の育成と、文化財発信事業を鎌倉市との協働事業で続けて行くことで、県からの講師の派遣、資料の借用などが可能となる、文化財課との協働を行う事で解決できる。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>3年生の「むかしの暮しの道具調べ」の体験型学習と、上級生の「玉縄城址探検隊」の受け入れを継続いたします。</p> <p>鎌倉唯一の歴史民俗資料館として、施設の拡充と市民学芸員の研鑽を重ねて行きたい。</p> <p>任意団体のため、市との協働事業でしか成しえないことが多くあるので人材育成事業、等を継続していただきたい。</p> <p>鎌倉博物館構想のサテライト候補の玉縄城址と玉縄ふるさと館を守り、地域の文化と歴史の発信拠点として努力を続けます。</p>

添付資料

- ・事業実施概要
- ・収支決算書
- ・支出内訳
- ・評価シート
- ・成果物
 - ① 副教材「かまくら玉縄のむかしのはなし」A4 20頁 5部
 - ② 副教材「かまくら玉縄のむかしのはなし」DVD-ビデオ 1枚
 - ③ 「昔の暮しの道具展示棚」縦1820mm、横3600mm、奥行き530mm 写真